

# 林業福島

No. **555**

題字 福島県知事 佐藤雄平



**11** 2010

かんしゅう■福島県農林水産部  
表紙の写真■冬 支 度



—— 福島県林業コンクール間伐技術部門 ——

# 福島県知事賞を受賞して

矢祭町 藤田 睦 介

この度は、福島県林業コンクールにご推薦いただき、さらには、このような栄えある賞をいただきましたこと誠にありがとうございます。これも偏に、東白川郡森林組合の方々をはじめ、関係機関の皆様によるご指導の賜であることに深く感謝申し上げます。

現在、所有している山林およそ四五畝は先祖より引き継いできたものですが、私で一八代になり代々山からの恩恵を受けてきました。

過去帳によると一六六一年(寛文元年)にこの地に屋敷を構えたことが伺え、それを裏付けるべく裏山には約四〇〇年になるモミの木が、周囲の木々よりも一際高く聳え、長年にわたる時代の変遷を見てきた証人の如く立っております。

昭和四五年には東白川郡森林組合主催の銘木コンクールで特選となり、倉庫に眠っていた当時の看板を見ると樹齡三六〇年、樹高三二メートル、周囲四・五メートル、胸高直径一・四一メートル、材積二二・一立方メートルという記録が残っております。

思い起こせば、山に初めて関わったのは二五歳の時の植林で、今回受賞した山も自力で植林したものです。

当時、町内の森林は見たす限り広葉樹林で覆われており、山々の至る所から炭焼きの煙が上がっていたものです。その後、拡大造林の時代が訪れ『植えよ！育てよ！』と人工林化が進められて来たことを記憶しております。

昭和四九年三月から昭和五二年二月まで東白川郡森林組合副組合長として組合業務に携わり、そして昭和六一年三月から昭和六二年八月まで代表理事組合長を務めていた時には、木材需要拡大推進協議会として首長さん方へ国産材の利用促進について陳情活動を行ったこと等『来るべき国産材時代』を信じ林業の推進役として関わってきたことを思う時、現在の状況は残念でなりません。

どうか森林所有者にとって山を持っていて良かったと思える林業施策を切に願うものです。

これからも微力ではありますが、体の自由が利く限り山に関わって行きたいと考えておりますので、今後とも東白川郡森林組合の方々をはじめ、関係機関の皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。おわりに、受賞されました皆様をはじめ、関係機関・関係団体の皆様のご多幸を祈念いたしまして、受賞の御礼とさせていただきます。

## 《も く じ》

とびら	普及指導員通信…………… 7
福島県林業コンクール	木材市況・ふくしま東西南北…………… 8
福島県知事賞を受賞して 矢祭町 藤田睦介… 1	森連だより…………… 9
福島県森林林業振興大会開かれる…………… 2	福島水源林整備事務所だより…………… 10
第35回福島県林業祭開催!!…………… 3～4	苗協メモ…………… 11
林業研究センターだより	林協ニュース…………… 12
複数のきのこを組み合わせた自然栽培方法について… 5～6	はなしのひろば…………… 13



国井大会会長あいさつ

## 福島県森林林業振興大会 開かれる

福島県森林林業振興大会は、10月23日午後1時30分から、郡山市のビッグパレットふくしまで開催され、県内の林業関係者等200名が参加した。

始めに、朝田宗弘県木材協同組合連合会長が開会を宣言し、国井常夫大会会長（県森林組合連合会代表理事会長）があいさつを述べた。

ついで、来賓の福島県知事（代理・鈴木義仁農林水産部長）、福島県議会議長（代理・瓜生信一郎副議長）、菊地基文埴町長、石原洋三郎衆議院議員、太田和美衆議院議員、吉野正芳衆議院議員、金子恵美参議院議員から祝辞をいただいた。

来賓紹介と祝電披露の後、斎藤卓夫県緑化推進委員会理事長を議長に議事が進められた。

まず、渡辺一夫氏（ふくしま中央森林組合代表理事組合長）が「元氣のふる林業を目指して」と題して基調報告を行った。



意見発表



大会決議

活動状況を発表した。

「市民参加の森林づくり活動」

NPO法人いわきの森に親しむ会理事長

松崎 和敬氏

「低コスト生産に向けて」

会津若松地方森林組合森林整備課  
主任主査兼造林・提案型集約化係長

佐瀬 悟氏

「緑の研修生として」

田村森林組合緑の研修生

白石 善吾氏

続いて、小野好郎県林業経営者協会会長が大会決議を読み上げ、満場の拍手で採択された。

最後に、早川英二林業労災防止協会福島県支部長が閉会を宣言した。

### ■森林林業振興大会決議

本県の森林は、農山村地域の住民などの林業生産活動によって支えられ、木材資源の循環利用や森林と共存した暮らしを通じて支えられてきました。また、豊かな生態系や景観が保全され、併せて県土の保全、水源のかん養、二酸化炭素の吸収など多様な公益的機能が発揮されてきました。しかし、農山村地域は、過疎化や高齢化が進行する中でかつての活力を失いつつあり、さらには木材価格の低迷等による林業採算性の悪化などに伴う林業離れの結果、森林所有者の自らの努力だけでは十分な管理が行き届かなくなっております。

一方、私たちは森林と人との共生関係や、森・川・海にわたる地域間の絆を次世代に引き継いでいき、森林林業を支える農山村の活性化とともに、豊かな森林の恵みをこれから

も享受できる低炭素・循環型社会の形成に取り組んでいかなければなりません。

このような中で、福島県当局にあっては、平成一八年度から東日本で初めて森林環境税を導入し、従来の施策に加え「県民一人ひとりが参画する森林づくり」に取り組んでこられたことに敬意と感謝を申し上げます。また、県民税をご負担された県民の皆様、法人の皆様に対し、深く感謝申し上げます。

この環境税により、水源地域の森林整備を始め、森林資源の利用促進のための路網の整備、間伐材を利用した県有施設の木質化、森林環境学習の推進等が進められました。また、全国で初めて市町村に対する交付金事業が創設され、市町村の実態に応じた取り組みや、今年度県立博物館など五館で開催された「森林文化企画展」の開催など大きな成果を挙げしております。

しかしながら本県の広大な森林からみれば、五年間で行う事業は限られておることから、平成二三年度以降につきましても、森林環境税の継続が必要であり、福島県森林審議会においても五年間継続することが適当とする答申がなされたところであります。

つきましては、ここに本大会の名のもとに、森林林業施策のさらなる強化と、新たな取り組みを加えた森林環境税の平成二三年度以降の継続実現に向けて総力を結集することを決議いたします。

平成二二年一〇月二三日

福島県森林林業振興大会

# 第35回 福島県林業祭 開催!!



模擬上棟式での餅まき



テープカット

10月23日、24日、第35回福島県林業祭が郡山市の県林業研究センターにて開催され、秋晴れの下、両日とも家族連れなどで大変賑わいました。



完成したフクロウ



チッププールで大はしゃぎ



高性能林業機械の展示



チェーンソーアートショー

九時三〇分より、本館前にてオーピングセレモニーが行われ、鈴木義仁林業祭実行委員長の挨拶やテープカットの後、ブラスアンサンブル輝響のファンファーレが森に鳴り響き、林業祭が始まりました。

展示館では研究成果の展示や、林業相談窓口、野生きのこの鑑定、昭和の林業の映写会、空飛ぶタネを飛ばす実験などが行われました。

本館周辺では、小枝工作や、丸太切り体験、竹細工、ハーブの苔玉作り、桐を使ったキーホルダー、糸鋸加工実演、森のコンサートなどが行われ、森のビンゴでは子供たちが盛り上がり上がっていました。

通路では林業機械、器具、県内の農林産物の店が軒を連ね、こんにゃく、木酢液、ハチミツ、もち、おこわなどが販売され、両手いっぱい荷物を抱えた人々で溢れていました。

研修本館では、きのこまつりが開催され、品評会に出品されたシイタケやナメコが並び、販売開始を今か今かと待つ人々で溢れ、時間になると飛ぶように売れていきました。

きのこゼリー試食コーナーや、お米のグラム当てクイズコーナーにも長い列が出来ていました。木の葉のパウチでしおりを作るコーナーや松ぼっくりでミニツリーを作るコーナーでは皆、夢中になって楽しく制作していました。



通りにはたくさんの店



親子で木工教室



受賞したきのこ



出品されたきのこは大人気!!



子供も参加♪森のオークション



日頃の技術を競う選手たち



森のコンサート

## 森林と林業の魅力! 大満喫!!

パネル展示ブースは環境保全活動を実施している企業や、緑の少年団の活動紹介、森林環境学習成果、県政のPRや、木工工作コンクールの入賞作品が展示されました。  
多目的広場では、二三日にチェーンソー選手権が行われ、森林組合や事業体からの出場者がチェーンソー操作の正確性や速さを競っていました。

チェーンソーアートショーのパフォーマンスに人々はくぎ付けになり、何が生み出されるのか興味津々でした。細部まで見事に作られたフクロウや金魚などの作品は、二四日の森のオークションに出品され競り落とされました。

広場では、高性能林業機械の展示や子供向けきこり番付、丸太積み、丸太引きなども行われていました。  
木材加工・試験棟の木材コーナーには、スギ材の強度試験実演、ペレットストーブの実演販売、親子でプラントナーなどを作る木工教室、積み木や木のパズル、チッププールなどがありました。ブランド材小屋組の模擬上棟式での餅まきでは皆、歓声を上げながら拾っていました。

なお、平成二二年度福島県林業コンクール等表彰式が二三日ホテルバーデンで開催され、林業コンクール・きのこ品評会など九三件が表彰されました。

## 林業研究センターだより 複数のきのこを組み合わせた 自然栽培方法について



きのこの発生状況

県林業研究センター林産資源部

内海 享

### 一 はじめに

当センターではこれまで、中山間地域の振興を目的に本県の自然条件に適合した、少量多品目のきのこを簡易かつ低コストに生産・販売できる栽培技術について検討してきました。今回は複数の種類のきのこを組み合わせ、年間を通してきのこ生産が可能となるような栽培方法の検討を行いましたので報告します。

### 二 試験内容

本試験では、自然条件をうまく活用して、簡易かつ低コストに栽培でき、植菌したその年内にきのこの発生が見込める短木栽培を実施しました。

太さ一〇センチ〜二〇センチの原木を長さ一五センチ程度に切断して短木と

し、種菌を厚さ数ミリの一センチ程度塗布し、種菌を短木と短木で挟み二本一組のサンドイッチ状態にして、

表一 試験内容

きのこの種類	原木の樹種	伏せ込み方法又は場所	試験項目 (発生時期、発生量) は共通試験項目
アラゲキクラゲ	コナラ・サクラ	縦置き地伏せ	樹種別
ナメコ N 1	コ ナ ラ	1 横置き地伏せ	(1) 伏せ込み方法別 (2) 品種別 (3) 発生部位別
ナメコ N 2		2 横置き1/3程度埋める	
ナメコ N 3			
ナメコ N 4			
ヒラタケ	コナラ・サクラ・シデ	1 横置き1/2程度を埋める 2 縦置き2/3程度埋める	(1) 伏せ込み方法別 (2) 発生部位別 (3) 樹種別
ムキタケA・B	コ ナ ラ	1 横置き地伏せ 2 縦置き地伏せ	(1) 伏せ込み方法別 (2) 品種別 (3) 発生部位別
タモギタケ	コナラ・サクラ	縦置き2/3埋める	樹種別
ブナハリタケ	コ ナ ラ	1 横置き地伏せ 2 縦置き地伏せ	(1) 伏せ込み方法別 (2) 発生部位別
クリタケ	コ ナ ラ	1 ほだ木の周囲を鹿沼土で覆土する 2 ほだ木の周囲に枯木を配置する以外は1と同じ 3 ほだ木の周囲を山土で覆土する 4 ほだ木の周囲に枯木を配置する以外は3と同じ	(1) 伏せ込み方法別 (2) 発生部位別
エノキタケ	コ ナ ラ	1 横置き1/2程度を埋める 2 縦置き2/3程度埋める	(1) 伏せ込み方法別 (2) 発生部位別

表二 試験区の設定及びきのこの発生時期等

きのこの種類	原木の樹種	伏せ込み方法	伏せ込み短木本数(箇所)	発生短木本数	発生時期 (上段: 2009年, 下段: 2010年)											
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		
					●	▲	■	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
アラゲキクラゲ	コナラ	縦置き地伏せ	22	3	●				▲	▲	▲	▲				
	サクラ	〃	37	23		●										
ナメコ N 1	コナラ	横置き地伏せ	11	4	●					▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
		横置き1/3埋め	10	4	●						▲	▲	▲	▲	▲	▲
ナメコ N 2	コナラ	横置き地伏せ	9	2	●					▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
		横置き1/3埋め	10	3	●						▲	▲	▲	▲	▲	▲
ナメコ N 3	コナラ	横置き地伏せ	9	0		●				▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
		横置き1/3埋め	10	0		●				▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
ナメコ N 4	コナラ	横置き地伏せ	10	0		●				▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
		横置き1/3埋め	9	0		●				▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
ヒラタケ	コナラ	横置き1/2埋め	11	2	●					▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
		縦置き2/3埋め	11	6	●					▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	サクラ	横置き1/2埋め	17	16		●				▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
		縦置き2/3埋め	18	15		●				▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
シデ	横置き1/2埋め	11	5		●				▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	縦置き2/3埋め	12	6		●				▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
ムキタケA	コナラ	横置き地伏せ	21	1		●				▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
		縦置き地伏せ	22	0		●				▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
ムキタケB	コナラ	横置き地伏せ	15	2		●				▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
		縦置き地伏せ	16	1		●				▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
タモギタケ	コナラ	縦置き2/3埋め	22	0	●				▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	サクラ	〃	37	18		●			▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
ブナハリタケ	コナラ	横置き地伏せ	10	0		●				▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
		縦置き地伏せ	10	0		●				▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
クリタケ	コナラ	表一参照	(4)	0		●				▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
エノキタケ	コナラ	横置き1/2埋め	14	0		●				▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
		縦置き2/3埋め	14	0		●				▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
ムラサキシメジ	菌床	省略		0	●				▲							

種菌の乾燥防止のため合わせた側面をガムテープで一周まわして貼り合わせました。植菌後は短木に菌が伸長するよう、日陰において寒冷紗で覆い週に三、四回程度散水をし、ほだ化を図りました。本伏せ前に一試験区当たり一〜四本の短木を供し、縦、横それぞれの切断面のほだ付き率を視で調査しました。その後、

スギ林内に伏せ込み、寒冷紗やビニールで被覆しました。きのこの種類、原木の樹種、伏せ込み方法などの組み合わせ及び試験項目を表一に示しました。きのこの種類は夏場に発生するアラゲキクラゲやタモギタケ、秋から冬にかけて長期間に渡り発生が可能なヒラタケやエノキタケ、その他に福島県オ

表-3 ほだ付き率

きのこの種類	原木の樹種	確認本数	完全伸長	不完全伸長	未伸長	害菌	子実体発生(2009年)
アラゲキクラゲ	コナラ	1	9%	33%	58%	0%	○
アラゲキクラゲ	サクラ	1	0%	3%	97%	0%	○
ナメコ福島N1号	コナラ	2	53%	42%	0%	5%	○
ナメコ福島N2号	コナラ	2	20%	28%	46%	6%	○
ナメコ福島N3号	コナラ	2	1%	34%	57%	7%	×
ナメコ福島N4号	コナラ	2	10%	28%	62%	0%	×
ヒラタケ	コナラ	2	0%	3%	42%	55%	○
ヒラタケ	サクラ	2	63%	2%	35%	0%	○
ヒラタケ	シデ	4	45%	34%	20%	1%	○
ムキタケA	コナラ	2	13%	0%	87%	0%	○
ムキタケB	コナラ	2	3%	12%	84%	1%	○
タモギタケ	コナラ	1	5%	69%	26%	0%	×
タモギタケ	サクラ	1	0%	60%	40%	0%	×
ブナハリタケ	コナラ	2	0%	13%	87%	0%	×
クリタケ	コナラ	2	11%	13%	76%	0%	×
エノキタケ	コナラ	2	1%	12%	78%	9%	×

完全伸長：菌糸が完全に活着した状態  
 不完全伸長：菌糸がある程度活着した状態  
 未伸長：菌糸が全く活着しない状態  
 害菌：害菌の菌糸が活着した状態

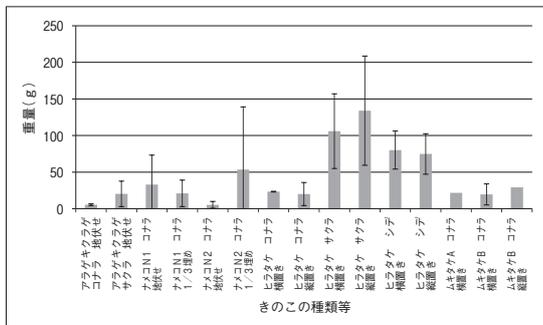


図-1 各きのこの短木1本(0.0017m²)当たりの発生量

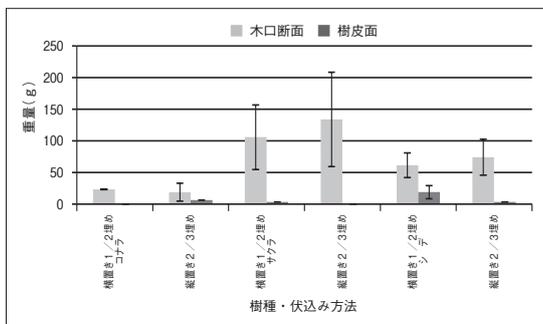


図-2 ヒラタケの樹種別・伏せ込み別・発生部位別短木1本(0.0017m²)当たり発生量



ヒラタケの発生状況・横置き木口断面の両側から発生

リジナルのナメコ品種福島N1～N4号などとなりました。原木は入手が容易なコナラを主とし、サクラ及びシデも一部使用しました。植菌時期及び伏せ込み時期は表-2に示しました。

三 試験結果

(1) ほだ付きの状況

ほだ付き率の結果を表-3に示しました。ほだ付き率は試験区によりばらつきが大きく○割合六三割でした。また、同一試験区内でもほだ付き率には大きな差がありました。ヒラタケのほだ付き率は、サクラが最も成績が良く、次いでシデ、コナラ

(2) 発生状況

植菌年内に子実体が発生した短木本数は、各試験区で一本から二三本と大きな差がありました。きのこの種類別では、ヒラタケが原木の樹種別及び伏せ込み方法に関わらず、発生短木本数及び収量が多い結果となりました。各きのこの子実体発生時期を表-2に示しました。アラゲキクラゲが八月中旬から発生し始め、次いでナメコ、ヒラタケ、ムキタケの順に発生し、一月中旬までヒラタケ

の発生が続きました。今回、ほだ付きの順となりました。今回、ほだ付きが安定しなかった理由として、ほだ化期間中の湿度不足のため菌が乾燥し、菌の活着がうまくいかなかったと考えられました。

子実体が発生した短木一本当たり(直径二センチ、高さ一五センチ、材積〇・〇〇一七立方メートル)の子実体発生量を図-1に、ヒラタケの樹種別・伏せ込み別・発生部位別短木一本当たりの発生量を図-2に示しました(子実体発生量は植菌年内の二〇〇九年に発生したもののみとした)。ヒラタケの子実体発生量はほだ付き率同様の順となりました。従前からいわれているように、コナラはヒラタケ用原木としてはあまり適さな

四 おわりに

試験結果から、発生時期が異なるこれら複数のきのこを組み合わせることで、長期に渡り多品目栽培が可能であると考えられました。更にきのこの種類・品種を増やしたり、県内各地域の多様な自然条件を生かすことで、より変化に富んだ栽培形態になると思われます。

当センターでは、今後も中山間地域振興に寄与するため、県内各地で利用され地域の特産品となり得るきのこの栽培技術の開発に取り組んでいきます。

## カシノナガキクイムシ防除事業現地研修会の開催

■県北農林事務所

本県のカシノナガキクイムシ被害は、平成12年度に西会津町で初めて確認されて以降、徐々に被害拡大を続けており、県北農林事務所管内においても、昨年9月に、福島市・本宮市で被害木が確認されました。このため、今年1月に被害木の特徴や伐倒駆除の実演等の第1回目の研修会を実施したところです。研修後、本宮市においては、徹底した駆除の結果、被害の拡大蔓延を押さえることができ、被害木は当初被害箇所の周囲に確認されるだけとなっているところです。

8月下旬には、伊達市・桑折町・国見町に被害木が新たに発見され、管内南北両端からの被害拡大を想定していたものの、想定よりも被害拡大が早く、すでにかなり広範囲に蔓延していることが確認されました。

そこで、被害木の早期発見と早期駆除及び予防対策を関係者が協力して推進することを目的に、10月には

福島森林管理署・各市町村・森林組合等関係機関を募集して、2回目の研修会を実施し、被害木の特徴・新たな調査研究事例の紹介や予防法（樹幹注入）の実演を行いました。

また、管内だけではなく周辺地域と連携を図るため、宮城県及び隣接市町村担当者や関係機関との共同の被害木調査を行い、早期の対応を取るための連絡体制や駆除方法・区域等の打合せを行っているところがあります。

今後も引き続き被害の拡大防止を図るため、監視体制の強化や利用を含めた被害木の処理対策を実施・検討していきながら、被害の沈静化を図れるよう取組を進めていきたいと考えております。

（林業普及指導員 佐川 大三）



室内研修会の様子



現地研修会の様子



参加者による樹幹注入体験



樹幹注入の状況

## クマハギ被害の対応は

■会津農林事務所

管内では従来より、会津若松市、北塩原村、喜多方市、西会津町など各地でツキノワグマによる造林木のはく皮被害が発生しています。被害木は成長の良い太いものが被害を受けやすい傾向にあり、経済的損害に加え、森林所有者の山離れを加速させてしまうおそれがあります。

対象木の根元に玉切りした材や枝を集積する、テープなどを幹に巻きつける、忌避剤を塗布するなどの対応策を情報提供していたところです。今年度は、会津森林管理署、会津流域林業活性化センターなどと話し合いを持ち、被害データ収集手法、野生鳥獣による森林被害の現況を調査することとしました。

また、関係機関合同企画により、9月7日会津美里

町において、森林総合研究所の岡輝樹氏を招き講演会を開催するとともに、森林農地整備センターの施業地においてクマハギ被害の実態を見学するとともに、参加者全員がクマハギ予防ロープ巻き付けを体験しました。市町村、森林組合、森林管理署、県の職員など約40名が見識を深めることができました。

10月には、2名の緊急雇用の方に主要道路からの目視により、カシノナガキクイムシ等病害虫によると思われる被害木に加え、クマハギにより枯損、褐変化しているのではないかとと思われるスギの分布情報を収集しました。昨年度喜多方市や森林管理署等で実施したクマハギ対策の効果調査を行い、広く情報を発信していきたいと思っております。（林業普及指導員 渡辺 信和）



クマハギ予防の現地研修会



講演会

# 木材市況

## 素材の価格〈工場着価格〉(8月15日現在)

(単位: m<sup>3</sup>当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	8(8~8)	0	9(9~9)	0	7(5~9)	0	8(5~9)	0
		10~13		並	スギ	10(9~11)	△1	9(8~9)	0	9(8~11)	0	9(8~11)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	13(11~15)	0	11(11~12)	0	11(11~12)	△1	12(11~15)	0
				並	ヒノキ	20(17~22)	1	(~)	-	18(14~21)	0	18(14~22)	0
		6.00	並	スギ	18(16~20)	0	18(18~18)	0	15(15~16)	△1	17(15~20)	0	
			並	ヒノキ	24(24~24)	0	(~)	-	25(22~27)	1	25(22~27)	1	
	20~28	3.65	並	スギ	14(12~18)	0	12(11~12)	0	11(11~12)	△1	12(11~18)	△1	
		4.00	並	アカマツ	10(8~12)	△1	10(10~10)	0	10(10~11)	△1	10(8~12)	△1	
		1.80	並		8(5~9)	1	(~)	-	8(7~9)	0	8(5~9)	0	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	21(21~21)	0	(~)	-	24(24~25)	0	24(21~25)	1
並				米マツ	25(23~28)	△1	26(26~26)	0	26(25~27)	0	25(23~28)	△1	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(~)	-	(~)	-	23(20~25)	0	23(20~25)	0	
			並	ベニマツ	27(27~27)	0	22(22~22)	0	21(21~21)	0	23(21~27)	0	
南洋材		70~90	8~14	並	ラワン	(~)	-	(~)	-	(~)	-	(~)	-
				並	アガチス	(~)	-	(~)	-	(~)	-	(~)	-
パルプ用材	-	-	並	マツ	(~)	-	(~)	-	6(6~6)	1	6(6~6)	1	
			並	広葉樹	(~)	-	(~)	-	6(6~6)	0	6(6~6)	0	

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	8(7~8)	0	9(8~9)	0
	13~14		並	カラマツ	7(7~8)	0	8(7~9)	0
	16以上		並	カラマツ	10(9~11)	*	11(10~11)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを、\*印は前月実績がなかったことを示す。  
 2. ( )内は各地域の価格幅、( )外は各地域の平均的価格を示す。  
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。

七月の原木市場への入荷状況は、前年比では一五割増加しているものの、虫害期のため伐採を控える傾向にあり、前月比では一九割減の二一、三一七立方メートルとなっている。販売量についても、前月比では一九割減(前年比二〇割増)の二〇、九三九立方メートルとなっている。八月の価格については、保合である。



### 布引風の高原

県中農林事務所森林林業部  
林業課長

丹治 俊 宏

昨年四月、郡山に赴任して以来、幾度か郡山市湖南地区の現場に足を運んできましたが、そのたびに遠方の高原に鉛筆を何本も立てたような光景を目にしました。それが、「布引風の高原」の風力発電所であることは知っていました。その現地まで行く機会はありませんでした。何となく気になっていたところに、この夏の殺人的な猛暑。八月某日、涼を求め、お弁当持参でこの「布引風の高原」へ出かけてみました。遠くからは風車発電機の大きさは想像が付きませんでした。間近で見るとそれは、とてつもなく大きなものです。高さ一〇〇メートルほどの風車が、「ブウォン、ブウォン」と低音で唸りながら回っています。広大な敷地

にこの大きな風車が三三基、そして、一面、ヒマワリが皆同じ方角を向いて咲き誇っていました。ヒマワリだけでなく、季節に応じて菜の花やコスモスなども楽しめるそうです。この風力発電所は、二〇〇七年二月に営業運転を開始し、発電所の出力は六五、九八〇キロワット、年間発電電力量は約一二、五〇〇万キロワット・h、これは一般家庭約三五、〇〇〇世帯分の年間消費電力量に相当するとのこと。先頃、天栄村の羽鳥湖周辺に、国内最大規模となる四四基、最大出力一〇万キロワット規模の風力発電所建設の計画が報道されていました。風力発電は火力発電と比較して発電コストが割高であるなど、まだまだ課題もあるようですが、クリーンエネルギーとして欧米を中心にシェアを拡大しているとのこと。将来、私たちの身近な山や高原に、巨大な風車が林立する光景を目にすることとなるかもしれません。皆さんも、機会がありましたら、「布引風の高原」に出かけてみてください。なお、冬期間は、スノーモービルでもなければたどり着けませんので念のため……。

森連だより

森林国営保険法の一部改正について  
時代のニーズ∞保険

みなさまご存じですか？  
平成二二年四月一日より森林国営  
保険法の一部が改正されました。  
これは、「保険法」の施行に伴う  
ものです。

今まで、日本では、独立して「保  
険法」と呼ばれる法律はなく、商法  
の保険に関する規定が採用されてき  
ましたが、その規定は、現在の保険  
制度に則しているとは言えず、立法  
化が望まれていました。

「変化」していくことは、一種チャ  
レンジであり、結果：拒絶反応や相  
乗効果をもたらすこともあります。  
すべての人に好評価を得ることは  
難しくても、「何かを変える力」は、  
「きつと何かのためになると思つて」  
進むことがステキかなと思えます。  
ここで、まだご存じでないみなさ  
まに、改正点を少しご紹介させてい  
たきます。



主な改正点は四つです。  
（※印は既契約にも適用されます。）

❶ 保険契約者の告知義務が「質  
問応答義務」となりました。  
保険加入に際しては、「対面  
販売」との観点から、ご契約者  
様に対して、「保険契約申込書  
の記載事項等に誤りがないか」  
などを保険の担当者が質問させ  
ていただき、ご契約者様は質問  
事項について告知していただく  
こととなりました。

❷ 契約の解除等による保険料の  
返還は、原則として「残存保険  
期間に対する保険料の全額を返  
還」することとなりました。

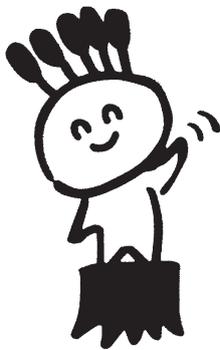
自己都合などによる解除の場  
合であっても、原則として残存  
保険期間に対する保険料の全額  
が返還されることとなりました。  
ただし、詐欺や強迫によって

契約が無効となった場合や取り  
消された場合は保険料の返還対  
象外となります。

❸ 重大事由による解除の規定が  
新設されました。※  
モラルリスク（保険金詐欺  
等）防止のため、故意、詐欺ま  
たは政府の信頼を損ない、契約  
の継続を困難とするような「重  
大な事由」がある場合には、政  
府から契約を解除できることと  
なりました。

❹ 保険金請求等にかかる「消滅  
時効期間が三年間に延長」され  
ました。

平成二二年四月二日以降の保険契  
約満了者のみなさまへは、更新申込  
書へのご案内通知を添えてお知らせ  
させていただきます。  
ご不明な点は、お気軽にお近くの  
森林組合または、福島県森林組合連  
合会・福島県森林整備課へおたずね  
下さい。



マモルくん

●申請のお忘れはございませんか？  
森林国営保険の保険金請求の時効  
は、発生日より三年間です。

損害発生通知書を福島県庁におい  
て受理された時点で時効は停止しま  
すが、災害の発生を確認されました  
ら、すみやかにお申し込みをされま  
した森林組合へお知らせ下さい。  
災害を除く、雪害、風害などの気  
象災は、災害の事故認定が必要とな  
ります。

加入保険料のめやすは、次のとお  
りです。

面積1.00haで保険期間2年間で試算した場合

樹種	加入時 林 齢	標準金額に 対する掛け率	お支払いする 保険金額(上限)	お支払い いただく保険料
スギ	20年生	100%	2,750,000円	20,900円
		30%	825,000円	6,270円
	25年生	100%	2,790,000円	19,657円
		30%	837,000円	5,897円
	40年生	100%	2,750,000円	20,900円
		30%	825,000円	6,270円
ヒノキ	20年生	100%	2,840,000円	21,498円
		30%	852,000円	6,449円
	25年生	100%	2,990,000円	20,659円
		30%	897,000円	6,197円
	40年生	100%	3,730,000円	25,343円
		30%	1,119,000円	7,602円

森林環境税や集約化施策予定地へ  
の積極的な保険加入をおすすめして  
おります。

福島水源林整備事務所だより

## スギ林のクマ皮剥 被害を防ぐには

— 森林農地整備センターが  
実施しているロープ法に  
よる皮剥防除 —

(独) 森林総合研究所森林農地整備センター  
福島水源林整備事務所

会津地方を自動車で移動している  
と、山のスギ林の中に紅く染まった  
スギの木が点在しているのを良く見  
かけます。一般の方ならばスギの木  
も紅くなるのだと間違えるかもしれ  
ませんが、林業に携わる皆様ならば  
巻き枯らし間伐、または野生動物の  
クマやシカによる皮剥被害によつて  
枯損した、との二択を直感できると  
思います。

今回はクマによる皮剥被害にし  
ぼつて論じます。この皮剥被害は育  
林にとつて致命傷であり、特に主伐  
を間近に控えた大径木ほど狙われや  
すい傾向にあるため、この被害を未  
然に防除することは林業経営にとつ  
ては急務とも言えます。

なぜクマは皮剥をするのか、単な  
る遊びまたは何か目的があるのか。  
この疑問についてはクマの生態を理  
解することが一番であると考え、ま  
たクマの皮剥被害の現状や防除策の  
情報交換を兼ねて、去る九月七日に  
会津流域林業活性化センター主催で

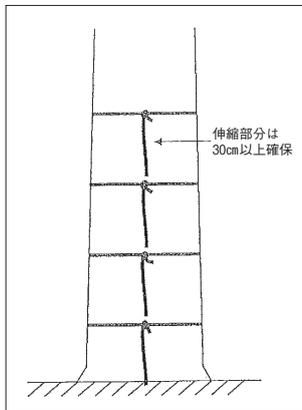


クマロープを実施したスギ林

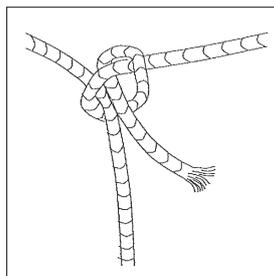
開催された「野生動物による森林被  
害対策現地研修会」に参加しまし  
たのでその内容を紹介します。

はじめに講演会があり、独立行政  
法人森林総合研究所 野生動物研究  
領域チーム長 岡輝樹氏よりクマの  
生態について説明がありました。

(1) クマの生態について  
官の構造からもライオンと同じ



ロープ法



伸縮自在結び

- (2) 食肉動物である。  
② 大きな体を維持するため食物  
に対してはどん欲で食物の対象  
を肉以外に拡大した。  
皮剥について  
① 皮剥の目的は一種の採食行動  
で樹木の糖分(糖度約一二)を  
得るため。  
② 被害は四月〜六月にかけて多  
いが、キイチゴなどの結実量に  
より変化する。  
③ 皮剥をしないクマもいる。親  
クマが皮剥をすれば子クマも皮  
剥を行う傾向がある。  
(3) 皮剥に対する防除について  
① 加害個体であるクマの除去  
(狩猟など)  
② 皮剥行動の阻害 (ア) 視覚や聴  
覚に訴える物理的防除 (ロープ

- 巻、風切り音など) (イ) 味覚・臭  
覚に訴える化学的防除 (苦味・  
臭いなど)  
午後は会津若松市内に所在する当  
センター管轄の分収造林地に移動  
し、皮剥被害の実状視察ならびに、  
皮剥防除の手法として当センターが  
平成二〇年度から取り組んでいる  
ロープ法を紹介させて頂きました。  
ロープ法による防除の特徴  
① 樹幹の根本から約四〇センチの間  
隔で四箇所 PPロープを伸縮自  
在結びにより結びつける。  
② 巻き付けたロープ及びロープ尻  
の揺れが視覚効果を発揮し、皮剥  
被害の阻害が期待出来る。  
③ ゆるんだロープの締め直し、ま  
たは老朽化による資材の交換が容  
易である。  
④ 資材とする市販の PPロープは  
入手し易く、かつ目的地までの運  
搬が容易である。  
⑤ 一本当たりの設置時間が短く  
(約二分)、設置効率が高い。  
参加者からロープ法について耐用  
年数など質問を受けましたが、当セ  
ンターも被害阻止の効果及び資材の  
耐用年数について経過観察中のた  
め、しかる後に改めて結果報告した  
と思います。
- 最後に、今回の現地研修会を契機  
として、皮剥被害は防除により最小  
限に抑制することが可能であること  
を多くの方に知っていただけたよ  
う、この取り組みを普及させていき  
たいと思います。

苗協メモ

# 第54回全苗連大会 開催される

去る九月十五日（水）、岩手県盛岡市の盛岡市民文化ホールにおいて、第五十四回全国山林種苗協同組合連合会大会が、全国各地から五八〇名の参加のもと開催されました。

まず、大森茂男大会実行委員長の開会のことばに続いて、太田清藏大会会長から「近年、森林に対する情勢は、地球温暖化防止、二酸化炭素吸収源として、資源の循環への期待が高まる一方で、木材価格の安値安定で採算が取れず、伐採跡地の再造林が困難となり、未済地が増加し、われわれ苗木生産者の生産体制の維持確立等様々な課題がある中で、新しい育苗技術の導入、低コストへ向けて更なる努力が続いている。今大会が実り多い大会となるようご協力を願う」旨のあいさつがありました。

ついで、上野善晴岩手県副知事、谷藤裕明盛岡市長のあいさつの後、来賓の津元頼光林野庁森林整備部長、佐々木一榮岩手県議会議長、佐々木良一郎岩手県森林・林業会議



盛大に開かれた大会

理事長から祝辞をいただきました。

次に表彰に移り、平成二二年度全国山林種苗品評会入賞者、平成二二年度山林種苗等生産事業功労者に、各々農林水産大臣賞、林野庁長官賞、及び全苗連会長賞が授与されました。

引き続き、第五十四回全苗連大会決議（案）が、岸紘治大会副会長より提案され、大会参加者全員の賛同を得て、大会決議が承認されました。

なお、今回は全苗連創立六〇周年

## 第五十四回全苗連大会決議

という記念の年であり、特別講演として、森林・林業基本政策検討委員会座長であり、岩手大学教授の岡田秀二氏により、「森林・林業政策の変更方向について―森林・林業再生プランを読み解く―」と題した講演がありました。

最後に、閉会のことばが富澤修一大会副会長からありました。

我が国の森林は、地球温暖化の防止や国土の保全、水源のかん養などの多様な機能を果たし「緑の社会資本」として国民生活の安定・安心に欠かすことができないものとなっている。特に、低炭素社会の実現が国際的な共通課題となる中、二酸化炭素の吸収源として地球温暖化防止に果たす森林の役割は大きく、京都議定書の基づく国際的約束を果たすためにも、森林の整備の重要性は一層高まっている。しかしながら、我が国の森林の現状は、長期にわたる林業の低迷により、手入れ不足の森林が増加するなど、森林機能の低下が危ぶまれる厳しい局面に立たされている。このような中、政府においては、昨年一二月、森林・林業の再生のための指針「森林・林業再生プラン」を策定し、今後、一〇年間を目標に、効率的な林業経営の基盤づくりや木材の安定供給と利用に必要な体制を整備し、「木材自給率五〇％以上」を目指すこととしている。特に、この再生プランの中で、伐採・

更新ルールの整備を行い、これに必要な優良苗木供給体制の整備を図ることが、その骨子の一つとして位置づけられたところである。

森林は、適正な伐採と植栽の繰り返しによって再生産を可能とする貴重な循環型資源である。今後、この再生プランの推進に当たって、資源の循環利用を念頭に置いて、適正な伐採・利用と確実な植林の確保措置が講じられ、木材自給率の向上とともに新たな苗木需要の喚起に繋がる事を期待するものである。

本日ここに、「森林・林業再生プラン」の実現に向けた施策の展開により、森林吸収源対策の一層の強化とともに、森林整備の基礎資材である優良苗木の持続的・安定的生産が可能となるよう、下記事項の実現について強く要望する。

### 記

- 一、森林整備関係事業の拡充と環境税の創設による安定的な財源の確保を図ること
- 一、森林の適正な伐採と確実な植林による新たな苗木需要の喚起を図ること
- 一、奥地水源地域、施業放棄地等における公的造林の積極的推進を図ること
- 一、優良苗木の持続的・安定的生産体制の維持確保を図ること
- 一、都道府県苗組の育成強化を図ること



最優秀賞「ゆかいな仲間たち」

当協会では、森林・林業・木材とのかかわりや森林整備作業などをテーマに、第七回ふくしま森林・林業コンクールを開催し、五月から九月二日まで作品を募集しており、九四点の応募がありました。審査委員会は、九月三〇日、高橋

林協ニュース

第7回  
ふくしま森林・林業  
写真コンクール  
入賞者決定!

《第7回ふくしま森林・林業写真コンクール入賞者》

※応募総数94点

賞	タイトル	氏名	住所
最優秀賞 (県知事賞)	「ゆかいな仲間たち」	佐久間吉信	二本松市
優秀賞 (県林業協会会長賞)	「団らん」	湯田 耕衛	南会津町
	「冬支度」	鈴木 芳子	郡山市
	「つかの間の語らい」	田中由佳里	福島市
特別賞 (県林業会館理事長賞)	「ふきのカップ」	佐藤 宏行	福島市
入選	「里山の秋」	水谷 洋志	南会津町
	「宙ぶらり」	広野 資郎	南会津町
	「炭焼き体験」	小田島守明	郡山市
	「木材の搬出」	佐藤 源策	郡山市
	「間伐材の運搬」	田崎 栄一	柳津町
佳作	「松食い虫の駆除作業」	鈴木 透	郡山市
	「記念植樹」	原田 勇二	伊達市
	「炭焼きに生きる」	斉藤 茂樹	郡山市
	「森林の恵みを大切に」	田村 喜彦	郡山市
	「炭焼き小屋の朝」	関根 松美	須賀川市

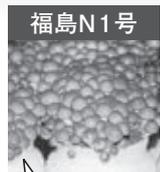
良雄氏(県写真連盟)を委員長に、県林業会館会議室で行われました。コンクールの趣旨に沿ったテーマで表現されているか、などについて審



査した結果、最優秀賞(県知事賞)には、佐久間吉信さん(二本松市)の「ゆかいな仲間たち」が選ばれました。  
佐久間さんの作品は、背景の積まれた薪で造られた形と、歩く親子の絶妙なバランスで心が和む作品に仕上がっていて素晴らしい、と審査員全員一致の高い評価でした。  
さらに、表のとおり、優秀賞(県林業協会会長賞)三点、特別賞(県林業会館理事長賞)一点、入選五点、佳作五点が選ばれました。

きのこで地域を元気に (財)福島県きのこ振興センター

●菌床栽培用ナメコ(登録品種)

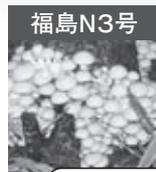


安定多取量

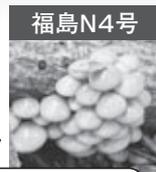


大型・滑り少

●原木栽培用ナメコ(登録品種)



コナラ原木で安定・多取量  
食物繊維、ペクチン様物質豊富



○その他各種種菌

○菌床  
・シイタケ  
・ハタケシメジ  
・ムラサキシメジ等

○マイタケホダ木 ○栽培資材

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2 Tel 024-947-2188 Fax 024-947-6926  
E-mail:f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp URL:http://www.f-kinoko.org



## 趣味に支えられて

秋祭りや紅葉を追いかけているうちに暦は一月に変わった。一〇月中旬に写真クラブの撮影会でスカイラインに出かけたところ、目の覚める様な紅葉は少なかった。事前調査を基に撮影日程を決定したのだが、気紛れな秋の気候は読みきれなかった。ただ、行く先々の駐車場はどこも満杯で、撮影ポイントには多くの車とカメラマンが道を塞いでいた。

ところで、今年は金婚を記念し新聞社からお祝い品が届いた。長かった様で短くも感じられる道程だが、両親や家族、兄弟、親戚など多くの人達に支えられた茨の道程だったと回顧している。趣味の川柳も結婚を機に始めたのでこちらも満五〇年になった。

川柳のための『微風』の雅号（ペンネーム）は川柳以外にも多用している。趣味仲間から実名を聞かれる事もあり、ペンネームもいつの間にか実名を凌ぐ？位置にある。柳歴五〇年、子供の頃に始めた写真は写真歴を聞かれる度に約一〇年と答えている。嘘は好きではないが、この程度なら冗談として許して頂けると思うし、そう願っている。

話は変わるが、私が本誌の『はなしのひろば』を担当して間もなく満一〇年になる。本誌は通巻五五五号を迎えるので、私が執筆した一一七号は全体の二割強に当たる。内容はともかく、一度も執筆を休まなかったのは家族の応援があったからと改めて感謝している。

執筆が長くなるとマンネリ化し、読者へ迷惑となるので、満一〇年（二二〇回）を機に筆を置きたいと思っている。『はなしのひろば』の執筆を始めてから友人の感想を聞く機会が増え、県外の団体から講演依頼も受けた。現在は団体等からの執筆依頼も増えている。

芸は身を助けるといわれるが、趣味を通じて多くの人と出会い、その出会いを大切にしたい事が私の糧となり、資料の提供や専門家の特別な解説を頂いた事もあり感謝している。私は若い頃から歴史に興味を持ち、県内の市町村史を買い求めているので、歴史に関する文章には史実が裏打ちをしてくれた。現在、市町村史は古書店でも入手は困難の様だ。取材で現地を訪れる事も多いが、いつも愛用のカメラが私を案内してくれた。

佐藤微風

## 表紙の横顔



### 冬支度

第7回ふくしま森林・林業写真コンクールで優秀賞（県林業協会長賞）となった鈴木芳子さん（郡山市）の作品。

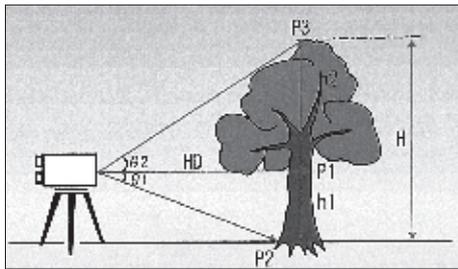
### 編集

### 発行人

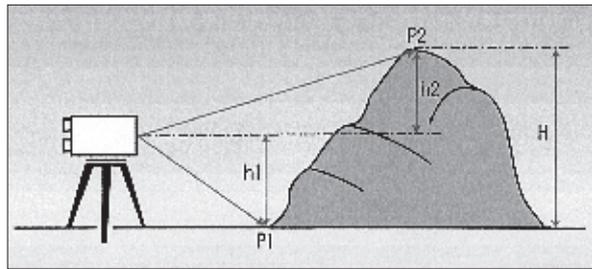
福島県内四森林管理署  
 福島県林業協会  
 福島県森林組合連合会  
 福島県木材協同組合連合会  
 福島県緑化推進委員会  
 福島県農林種苗農業協同組合  
 福島県林業公社  
 森林総合研究所福島水源林整備事務所  
 福島県林業協会  
 （福島市中町五番一八号県林業協会館内）  
 渡辺卓  
 陽光社印刷株式会社  
 （定価 六三円）

## 高さ測定

### 1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

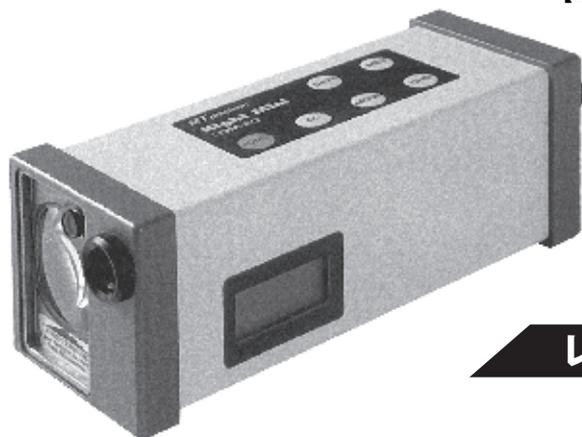


### 2. 堆積物等の山なり形状の場合



### 【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



# LDM-20

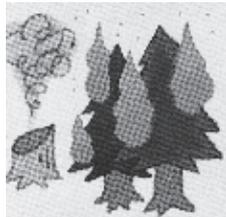
## レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

### 株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

# 備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



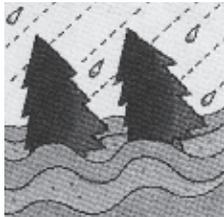
## 1 火災

山火事で受けた損害



## 2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



## 3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



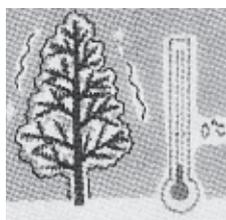
## 4 雪害

大量積雪による幹折れ、根返りなどの損害



## 5 干害

乾燥による枯死などの損害



## 6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



## 7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



## 8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《ご相談・お申し込みは》

◆森林組合

◆森林組合連合会

福島県農林水産部森林整備課

☎ 024-521-7430

イワフジのプロセッサ

# GP-35Vプロセッサ

**IWAFUJI**  
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を迫及したプロセッサ



Simple Processor  
MODEL : GP-35V



- 高耐久性を迫及したフレームとトンク
- 大容量ソーモータの採用による優れた切断力
- カッタ押し付けはシンプルなスプリング式
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラブ作業
- 高速コンピュータ GP-7 による精度の高い安定した測尺
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク

ランニングコストに優れたシンプルプロセッサ

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・グラブリングシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・ラジキャリーシリーズ



**イワフジ工業株式会社**

北関東支店 〒969-1149 福島県本宮市本宮万世11-7  
TEL 0243-34-5440 FAX 0243-34-5442

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!  
詳しくは当社ホームページをご覧ください [www.iwafuji.co.jp](http://www.iwafuji.co.jp)



豊かな緑を次代へ

# 自然との調和

**私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。**

皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

**野生動物から大切な植栽木を守る**

ツリーセーブ  
ヤシマレント

**盗みされ防止**

ハチノックL (網隠し)  
ハチノックS (携帯用)

**大切な日本の松を守る  
ヤシマの林業薬剤**

ヤシマスマイバイン乳剤  
ヤシマスマイバインMC  
グリーンガードエイト  
パークサイドF  
ヤシマNCS  
モリエートSC  
マツグリーン液剤2

**くん蒸用生分解性シート**

ちゆらシート (茶・白)  
NCSシート (透明)  
与作シート (茶・白)  
(折りたたみ式  
専用キャリアバック使用)



## ヤシマ産業株式会社

本社 〒104-0045 東京都中央区築地1丁目9-6 アロア築地ビル2F  
東北営業所 〒981-3133 仙台市泉区泉中央3-10-3-202

TEL.03-5565-3161(代) FAX.03-5565-3164  
TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

# 機器はゼノアから

排気量 **18.3cm<sup>3</sup>**

世界最小・最軽量、2.2kgの手のひらサイズ



**G2000T** 

20cm(8インチ)・SP ¥66,675(税込)  
20cm(8インチ)・CV ¥72,765(税込)

排気量 **40.1cm<sup>3</sup>**

さまざまな用途に対応、本格プロ仕様シリーズ



**G4211EZ** 

40cm(16インチ)・SP ¥135,660(税込)  
45cm(18インチ)・SP ¥137,865(税込)  
40cm(16インチ)・H ¥135,660(税込)  
45cm(18インチ)・H ¥137,865(税込)

使いやすさを  
追求したハンドルと  
思いのアクセルワークが  
可能なトリガーレバー。



**BC2711DW1-EZ**

・防振ハンドルブラケット  
・トリガーレバータイプ  
チップソー ¥79,380(税込)  
笹刈刃 ¥78,330(税込)

**ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店**

## (有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1